



本川根中学校3年  
大村愛結さん

### 思いやりの心と挑戦する勇気

初めての海外研修。そして10日間も家から離れる経験なんてしたことのないわたし。出発前は期待と不安が入り交じっていました。しかし現地では、ホストファミリーのみんなが、わたしの片言の英語に一生懸命耳を傾けてくれました。分からない単語は、一緒に電子辞書で調べてくれました。必死に伝えようとするとファミリーは真剣に聞いてくれます。緊張するわたしに、とてもやさしく接してくれたんです。このホームステイを通して、相手を思いやる「温かい心」と、新しいことに挑戦する「勇気」を得ることができた気がしています。



本川根中学校3年  
山下佳峰さん

### 緊張や不安な気持ち乗り越えた

旅立つ前はとても不安でした。初めての海外経験だったし、何より英語しか話さない国に行く…。わたしは本当に上手にできるだろうか…。そんな思いでいっぱいでした。カナダの第一印象は「とても涼しい」でした。涼しいとは聞いていたけれど、こんなに涼しいとは思いませんでした。街を歩いている時、道行く人にあいさつすると気軽に返事が返ってきて驚きました。ホストファミリーに初めて会った時は緊張したけれど、3、4日過ぎるとたどたどしいながらも会話ができるようになりました。この研修に参加して本当に良かったです。



本川根中学校3年  
簀下佳奈さん

### 英語を駆使して伝える難しさ

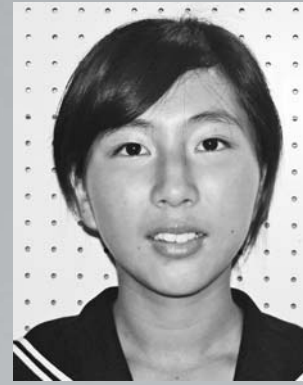
わたしは自分の英語力がどの程度なのかを実感することができました。一番最初にホームステイした時は、周りが英語ばかりで、まったく理解できませんでした。相手が話しかけてきても、イエスやノー、サンキューといった簡単な単語でしか返せず「こんなに分からないものなのか…」とショックを受けました。英語の授業では、英語しか使ってはいけなくて、とても難しかったです。でも今まで習ってきた英語を懸命に駆使して、自分の意志を伝えることができました。英語力はまだまだけど、カナダに行く前よりは良くなったように思います。



本川根中学校3年  
石黒亮くん

### 何とか伝えようと努力すること

カナダ研修に参加して気付いたことは、外国人も僕たちと同じ人間だということです。違うのは使っている言葉だけ。何とか伝えようと努力すれば、相手に伝わるんです。アイスクリームを注文する機会が何度もありました。英語で注文するのは難しいと思いましたが、実はそうではありませんでした。食べたいアイスクリームを指さして「ディスインプリーズ」と言うだけ。その後、数を聞かれたり、コーンかカップかを聞かれたりしましたが、それも指で示すなどすれば十分通じました。人と人。言葉は通じなくても、ちゃんと通じ合えることが分かりました。



本川根中学校3年  
榎田麻央さん

### 自分の意志を伝える難しさ実感

わたしは英語が苦手です。テストも苦手。カナダでは日本語が通じないのに大丈夫かとすごく不安でした。でもホストファミリーは、とても温かく接してくれました。わたしが理解できないことは、何度も繰り返し話してくれました。そのおかげで何とか聞き取ることはできましたが、でもやっぱり自分の意志を伝えるのは難しく、身振り手振りを使ってばかりだったように思います。自分の英語力のなさを痛感し、勉強することの大切さを知りました。親に感謝する気持ちや、本町の良さを改めて感じる事ができた、充実した10日間でした。



本川根中学校3年  
石川愛理さん

### すべての人と心から伝え合いたい

わたしは人と接することが大好きです。でも英語力には大きな不安を抱いていました。それなのにカナダでは英語がとても良く理解できたのです。カナダで出会った人たちが、わたしにも理解できるように、ゆっくりと何度も「伝えよう」としてくれたからなんです。ホストファミリーは、初めて会った時から、家族のようにわたしを受け入れてくれました。日本でのわたしは、日本語でさえも伝え合おうとしていなかったのではないかと思います。これからは、接するすべての人たちと、心から伝え合いたいと思っています。



本川根中学校2年  
高瀬瑠菜さん

### 大変さの倍以上、得たものがある

わたしにとって初めての海外。ホームステイも初めての経験です。他人の家で過ごす、日本語も通じない…。出発前は、とても不安でした。でも実際に海外を肌で感じて、貴重な経験をたくさんすることができ、目や耳でしっかり学ぶことができました。初めてのホームステイでは、英語が理解できず困ってしまう場面も何度かありました。でもホストファミリーは一生懸命理解しようとしてくれました。大変なことは多かったけれど、その倍以上、学んだことや感じたことがあります。わたしが得たものは、とても大事なもののばかりです。



本川根中学校2年  
大村有菜さん

### さまざまな学びや発見に出合った

カナダではたくさんのことを学びました。特に「文化の違い」を実感しました。食事の際、日本は箸を使いますが、カナダはフォークとスプーン。最初は使い方も分かりませんでした。3日目の夜、ホストファミリーのお母さんが使い方を教えてくれました。ホームステイは、あまいものでありません。日本語が使えないのは当たり前なんだと、しっかり頭に入れておかなければ後悔する場面もありました。それでも食事のルールや英語での伝え方など、さまざまな学びや発見がありました。優しい人たちに囲まれ、充実した日々を過ごせました。



本川根中学校2年  
石黒明日香さん

### 習慣や文化の違いを肌で感じた

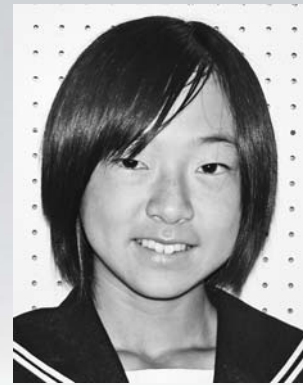
わたしはこの研修で、日本とカナダとの習慣・文化の違いを肌で感じてきました。その一つ目は食べ物です。日本では米が主食ですが、カナダではパンが主食でした。中でもびっくりしたのが牛乳なんです。牛乳の入っているボトルが4リットルもあり、とても驚きました。2つ目が気候です。雨が降った時は、日本の冬と同じくらい寒かった。夏だけカナダに滞在できたらいいなあなんて思いました。生活や文化の違いを実感し、日本に住んでいることの幸せを感じました。10日間の研修を通して、とてもいい経験が積めました。楽しかったです。



本川根中学校3年  
中村夏帆さん

### 生活の習慣や食事の違いに驚き

10日間の研修に参加して、わたしがいちばん驚いたのは「生活習慣」や「食事」がまったく違うことでした。カナダでは、サマータイムというものも導入されています。午後9時ごろまで明るいのです。だからカナダの人々は、その時間を利用して、散歩やガーデニングなどを楽しんでいます。日本では、ちょっとまねできないことだなと、生活の違いを実感しました。食事は日本の方がおいしいけれど、2、3日たつとカナダの食事にも慣れました。わたしは、カナダへホームステイすることで、本当に貴重な体験ができました。



本川根中学校3年  
大村綾さん

### 「ありがとう」の言葉の大切さ

わたしは10日間の研修で「ありがとう」の言葉の大切さを改めて感じました。普段、家族といるときは何気なく使っている感謝の言葉。でもいざ異国の地で言葉が通じない不安の中、「サンキュー」と一言言うだけで、心が通じた気がしたんです。荷物を持ってくれた時、ご飯を作ってくれた時など、たくさん感謝の言葉を伝える場面がありました。ホストファミリーも笑顔で聞いてくれました。今回のカナダ研修に参加したことで、「ありがとう」という言葉は、人にとって本当に大切な言葉なんだと実感しました。

ホストファミリーはわたしを家族のように受け入れてくれました。

本川根中学校3年 石川愛理